

岡山大学整形外科学教室案内

目次

整形外科とは.....	3
科の概要.....	3
後期臨床研修の目的と特徴.....	4
教育方法.....	5
研修コース.....	5
[大学入局コース].....	5
[地域密着型コース].....	6
[救急外傷コース].....	7
[リハビリテーションコース].....	7
[地域医療コース].....	7
[ゆとりコース].....	7
[大学院研究コース].....	7
[社会人大学院コース].....	7
専門医資格.....	7
卒後3年目、7年目、10年目の状況.....	8
整形外科入局に関するお問い合わせ先.....	8
関連病院・施設.....	9
関連病院.....	9
国内留学受け入れ施設（整形外科同門先輩による）.....	9
臨床研修のための海外関連施設.....	9
その他の海外活動.....	10
基礎留学受け入れ海外施設（整形外科同門教授による）.....	10
大学院、学位取得について.....	11
大学院 Q&A.....	11
Q: 大学院に入学する利点は？.....	11
Q: 博士号より専門医取得が大切と言う意見を聞くが？.....	11
Q: 大学院に入学すると臨床研修が遅れるのでは？.....	12
Q: 大学院時代の収入は？.....	12
Q: 学会発表のために海外出張は可能か？.....	12
Q: 大学院を卒業後は地方の病院などでお礼奉公があるのでは？.....	12
入局 Q&A.....	12
Q: 地方の関連病院に派遣されることがありますか？.....	12
Q: 勤務先の選択は？.....	13
Q: お酒が強くないと整形外科に向きませんか？.....	13
Q: 整形外科は体育会のイメージがありますが？.....	13
Q: 体力が無いが整形外科医は可能か？.....	13
Q: 海外留学は可能か？.....	13
Q: 女性医師に対する対応は？.....	14

整形外科とは

整形外科とは、運動器を構成する組織、すなわち骨、軟骨、筋、靭帯、神経などの疾病・外傷を対象とし、その病態の解明と治療法の開発および診療を行なう科です。整形外科が担う守備範囲は、外傷(スポーツ外傷・障害含む)、退行変化、腫瘍、炎症、代謝疾患、先天異常、骨系統疾患、末梢・中枢神経麻痺などきわめて広いものです。また、2002年の「国民衛生の動向」(厚生統計協会編)によると、国民の有訴率の第1位は腰痛、第2位は肩こり、第3位は手足の痛みで、運動器関連症状が上位を占めています。実際の病院の外来では、整形外科患者さんは大変多く、特に一般病院の外科外来の患者様の約2/3は整形外科の患者様でしょう。このように整形外科の社会的な需要は極めて高いといえます。近年、スポーツ愛好者も多く、スポーツ外傷も増加しています。また、日本は世界一の長寿国となり、高齢者の骨折対策やQOLの問題など、整形外科医に対する多方面から期待は大きいものです。

科の概要

岡山大学整形外科の創立は1954年です。2005年6月より、新任の尾崎敏文教授(1961年生まれ)が新しい体制で教室を主宰しております。この先メンバーに加わる方々が新しい教室の中心となるわけです。指導医は教授以下、准教授1名、講師1名、助教6名、医員5名で構成されています。診療は、外傷、脊椎、膝、スポーツ、股関節、上肢、小児、腫瘍、リウマチ、リハビリテーションのグループに分かれて行われています。外来患者数は1日平均150名で、病棟では50床で入院患者を担当しています。手術日は火曜の午前(1列)、水曜(全日3列)、金曜(全日2列)です。手術件数は月60件程度(院内トップクラス)で、非常に難易度の高い手術が行われています。ちなみに、整形外科による収益は、院内の各科のトップクラスに属し経営的にも病院を大きくサポートしています。

リウマチ・関節外科分野疾患は年間全人工股関節置換術(THA)件数が100件、全人工膝関節置換術(TKA)件数が50件以上となっています。また、スポーツ外傷・障害の治療も盛んで、膝靭帯再建の国内有数の施設です。また、スポーツ・リハビリテーショングループは天満屋のマラソンチームのサポート、県内サッカーチームの国

内および海外遠征などのサポートを行っています。外傷では、難易度の高い骨盤骨折等が当病院に集まっています。特に、ヘリコプターを利用して遠方より搬入されることもあり、西日本の外傷センターとなっています。また、脊椎外科分野は手術件数で西日本一、二位を争う状況です。腫瘍の治療においても、中四国全域の症例が当病院に集まり、西日本有数の治療センターになっています。また、救急部とともに、救急外傷を治療しています。小児整形外科分野では、多くの新しい治療手段を開発導入し、世界のオピニオンリーダーとなっています。



天満屋マラソンチーム山口衛里選手とともに シドニーオリンピック出場決定時に

後期臨床研修の目的と特徴

整形外科疾患について診察、治療方法や救急外来での骨折などの外傷に対する治療を学び、自分の考え・技術で完全に対応できるようになることです。緊急性のある疾患を認識して、早期に対応する判断力と技術を養うことも大切です。手術室、病棟、救急外来での現場でのトレーニングが多くなります。さらに基本的な手術症例は手術を担当していただきます。学会入会后6年経過時以降に整形外科専門医とりハビリテーション専門医を取得することが可能です。

岡山大学整形外科は、関連病院が豊富です。したがって、各病院にそれぞれ特徴があります。たとえば、ある病院は脊椎手術件数が多い、ある病院は人工股関節手術件数が多い、ある病院は重度の外傷が多いなどです。それぞれ、ご希望の病院を

選択していただくことが可能です。

教育方法

指導医とともに、入院、外来診療に加わり、手術にも参加します。一般的には、指導医がついて手術の執刀をしていただきます。

大学病院ではカンファレンスは火曜と木曜朝8時より1時間行っています。また、チームごとに抄読会もあります。手術日は術後回診が夕方6時より行われます。

カンファレンス・抄読会週間日程

月曜日	【抄読会 (小児)】	: 7 時 30 分
火曜日	【抄読会 (脊椎)】	: 7 時
	病棟カンファレンス・回診	: 8 時
	抄読会 (リハ)	: 16 時
水曜日	外傷カンファレンス	: 19 時 (第 1)
	手の外科カンファレンス	: 19 時 (第 2)
木曜日	病棟カンファレンス・回診	: 8 時
	リウマチカンファレンス	: 19 時 (第 3)
金曜日	【抄読会 (リウマチ)】	: 7 時 30 分 (第 4)
	【抄読会 (膝)】	: 7 時 30 分
	脊椎カンファレンス	: 19 時 (第 1)
土曜日	【抄読会 (外傷)】	: 7 時 15 分
	スタッフミ - ティング	: 8 時 ~ 8 時 30 分 (第 1 月曜)
	大学院セミナー	: 17 時 ~ 18 時 (第 2 月曜)
	Basic Research Conference	: 18 時 ~ (第 2 月曜)

研修コース

【大学研修コース】

3 年目	岡山大学附属病院にて臨床研修
4 年目 ~ 6 年目	場合により関連病院にて一般整形外科の臨床研修
6 年目	専門医取得
7 年目 ~ 8 年目	大学病院あるいは関連病院にて専門臨床研修
9 年目 ~ 10 年目	大学病院、関連病院、臨床留学など

希望により各関連病院間を移動しながらの研修は可能です。さまざまなパターンが考えられるので、その都度研修者の希望を重視します。

【地域密着型コース】

岡山県内コース

- 固定： 岡山市内の国立岡山医療センター、岡山赤十字病院、岡山済生会、岡山労災、などで継続して3年間研修
- 移動： 上記岡山市内コースの各病院を1 - 2年おきに異動しながら研修(ただし旭川療育園や吉備高原リハビリテーションセンターでの半年程度のリハビリ研修も含む)

広島県コース

- 固定： 福山医療センター、福山市民病院、日本鋼管福山病院、尾道市立市民病院、三原赤十字病院、寺岡記念病院、府中総合病院、呉共済病院、中国中央病院などで継続して3年間研修
- 移動： 上記広島県内コースの各病院を1 - 2年おきに異動しながら研修(場合により、岡山県内などのリハビリテーション施設での半年程度の研修も含む)

兵庫県コース

- 固定： 神戸赤十字病院、神野病院、佐用中央病院、赤穂中央病院で研修
- 移動： 上記病院のローテーションを行う(場合により、岡山県内のリハビリテーション施設での半年程度の研修も含む)

香川県コース

- 固定： 香川県立中央病院、香川労災病院、屋島総合病院、滝宮総合病院で研修を行う
- 移動： 上記病院のローテーションを行う(かがわ総合リハビリテーションセンターでの半年程度の研修を含む)

高知県コース

- 固定： 高知医療センター、近森病院、高知リハビリテーション病院などで研修を行う。
- 移動： 上記病院のローテーションのほか県立療育福祉センターでの半年程度の研修を含む

愛媛県コース

- 固定・移動： 住友別子病院、済生会今治病院、愛媛県立子ども療育センターなどで研修を行う。

山陰コース

- 固定・移動： 鳥取市立病院、雲南総合病院での研修

【救急外傷コース】

岡山赤十字病院、神戸日赤、福山市民、国立岡山医療センター、香川労災病院、高知医療センター、近森病院などで研修

【リハビリテーションコース】

吉備高原リハビリテーションセンター、旭川療育園、かがわ総合リハビリテーションセンター、高知県立療育福祉センター、愛媛県立子ども療育センターなどで研修

【地域医療コース】

整形外科だけでなく内科的疾患も研修できるように、地域医療の盛んな病院で研修

【ゆとりコース】

仕事だけでなく研究や趣味などを重視する人のために、比較的ゆとりのある病院での研修

【大学院研究コース】

3年目～6年目 大学院

7年目～8年目 基礎留学や岡大病院あるいは関連病院にて専門臨床研修

9年目～10年目 大学病院、関連病院、臨床留学など

【社会人大学院コース】

病院に勤務しながら大学に通学し研究を行う社会人大学院コースもあります。

最近 10 年間の入局者

平成	19年	18年	17年	16年	15年	14年	13年	12年	11年	10年
総数	12	14	4	1	3	11	13	14	8	17
岡大出身者	4	7	4	1	1	3	8	2	2	5
他学出身者	8	7	0	0	2	8	5	12	6	12

(平成 15 年度より、卒後臨床研修必須化のため入局者が減少)

専門医資格

日本整形外科学会入会後 6 年で整形外科専門医受験資格が得られます。岡山大学整形外科の合格率はほぼ 100%です。これ以外にも日本整形外科学会のスポーツ

医、リウマチ医(日本整形外科学会、日本リウマチ学会)、脊椎脊髄病医、日本体育協会スポーツドクターなどのサブスペシャリティーの資格や、リハビリテーション専門医などの資格が取得できます。

卒後3年目、7年目、10年目の状況

卒後3年目： A)基幹病院(スタッフ数名)で、外傷、変性疾患の手術。 B)大学院

卒後7年目： A)基幹病院の中堅として臨床診療。 B)大学病院・基幹病院でサブスペシャリティー研修。 C)国内・国外留学

卒後10年目： A)関連病院への就職。 B)大学・基幹病院のスタッフ。 C)国内・国外留学。 D)開業

整形外科入局に関するお問い合わせ先

担当医師 田中雅人(医局長) E-mail: tanakam@md.okayama-u.ac.jp

医局直通電話: 086-235-7273 Fax: 086-223-9727

関連病院・施設

関連病院

- A) 岡山県下のほとんど全ての病院
- B) 広島県: 福山医療センター、福山市民病院、日本鋼管福山病院、尾道市立市民病院、三原赤十字病院、因島総合病院、寺岡記念病院、府中総合病院、呉共済病院、中国中央病院、他
- C) 山口県: 岩国医療センター、光輝病院
- D) 兵庫県: 神戸赤十字病院、神野病院、佐用中央病院、赤穂中央病院、姫路中央病院、他
- E) 香川県: 県立中央病院、香川労災病院、かがわ総合リハビリテーションセンター、屋島総合病院、滝宮総合病院、他
- F) 高知県: 高知市民病院、県立療育福祉センター、高知リハビリテーション病院、嶺北中央病院、近森病院、他
- G) 愛媛県: 住友別子病院、済生会今治病院、愛媛県立子ども療育センター、四国がんセンター、他
- H) 鳥取県: 鳥取市立病院
- I) 島根県: 雲南総合病院

国内留学受け入れ施設 (整形外科同門先輩による)

国立がんセンター整形外科 (S60年入局の川井章 医長)

国立成育医療センター移植外科研究部(整形外科 H4 入局の浅原弘嗣教授)

他、どこでも可能です。

臨床研修のための海外関連施設

ドイツ ミュンスター大学整形外科

<http://www.klinikum.uni-muenster.de/institute/orth/>

北西ドイツ・リウマチセンター、

	ドイツ各地の大規模外傷センター
スイス	スイス各地の外傷センター
オランダ	アムステルダム自由大学整形外科 http://www.english.vu.nl/home/index.cfm
オーストラリア	メルボルン大学整形外科、ロイヤル・パース・リハビリテーション ホスピタル
アメリカ	UCLA 整形外科、リハビリテーション・インスティテュート・ シカゴ(RIC)
イギリス	ロンドン大学

その他の海外活動

岡山県サッカー協会の海外派遣選手のチームドクターとして海外出張可能
天満屋マラソンチームのチームドクターとして、オリンピックや世界選手権へ出張
可能

基礎留学受け入れ海外施設 (整形外科同門教授による)

Scripps 研究所 (サンディエゴ) (整形外科 H4 入局の浅原弘嗣教授)

大学院、学位取得について

卒後3年から大学院に進学が可能です。大学院は4年間のうちに、整形外科の専門分野の研究を行います。大学院での基礎研究は臨床でぶつかる壁を突破することを最終目的とし、臨床診療では得られない学問を行うこととなります。また、臨床研究での博士号取得も可能です。臨床分野では疫学的な研究や新しい診断方法、手術成績を検討します。基礎分野では、分子生物学的な解析や再生医療などの研究を行っています。是非、大学院進学を推奨いたします。

大学院入試

(a)一般選抜

入学試験は2回/年あります。今年度は前期の申し込みが8月(終了)後期が平成20年1月11日 - 18日で試験は1月30日にあります。整形外科分野の研究技術を習得しながら博士論文を完成させます。在学中には主に大学病院他で並行して臨床も研修を行います。募集要項をご希望があれば送付いたします。

(b)社会人選抜

勤務しながら学位取得を希望される方は社会人選抜大学院に入学すれば可能です。

(この場合は少し時間的に余裕のある施設での研修になります。)

受験希望の方は前もって教室にご連絡下さい。

大学院 Q&A

Q: 大学院に入学する利点は？

A: 臨床研修しながら、博士号を取得できることです。また、基幹病院でチーフになるには、技術的なことだけでは難しく、若い医師の学術的な指導能力が要求されます。特に、学会発表の指導、英語論文の指導などは、少なくとも若い時期にそのようなトレーニングを受けてないと困難です。そのためにも、大学院をお勧めします。

Q: 博士号より専門医取得が大切と言う意見を聞くが？

A: 最近、マスコミでよく見かけますが、当科ではまったくあてはまりません。大学院に入学して専門医をとりつつ、博士号をとれます。一石二鳥です。

Q: 大学院に入学すると臨床研修が遅れるのでは？

A: 大学院在学中も認定医取得のための研修期間に含まれます。また、臨床データの解析でも博士号が取れます。大学院時代は、大学病院以外でアルバイトをしますが、そこでの手術は、大学の上司などの指導で術者ができるようになっています。従いまして、年間 100 例程度の骨折などの手術経験は十分可能です。

Q: 大学院時代の収入は？

A: 週 2 回の院外でのアルバイトを行っております。だいたい月収 50 万円程度にはなります。それで不十分なら、追加のアルバイトに行っております。

Q: アルバイト先での実際の医療活動ができるかどうか不安です。

A: 大学院生のアルバイト先は、指導医がちゃんという(特に教育の上手な)施設を選んでいきますので、何かあればすぐ相談ができるようになっています。医療ミスなどで責任がかかることはほとんどありません。高学年となると、ある程度自分の裁量で診療ができるところに行っております。

Q: 学会発表のために海外出張は可能か？

A: 大学院生のうちに何度か海外での学会に参加しております。もちろん交通費は医局より支払われます。

Q: 大学院を卒業後は地方の病院などでお礼奉公があるのでは？

A: 一般的に卒後は、しっかりした指導医がいる施設に赴任しております。赴任先は同時期の卒業生で話し合いをして決めております。

入局 Q&A

Q: 地方の関連病院に派遣されることがありますか？

A: 関連病院には、都市部の病院のほかに、地方の病院や個人病院もあります。し

かし、少なくとも教育的な病院が関連病院になっています。また、将来的に自分の出身地に帰る方が多いのですが、そのような方々にも、大変喜ばれています。

Q: 勤務先の選択は？

A: 本人の希望にできるだけ沿うようにしています。勤務先の斡旋は医局に所属する限り可能です。また、勤務先を変更したくなった場合も、次の病院を紹介しています。仕事をする気さえあれば、半永久的に職場は斡旋いたします。

Q: お酒が強くないと整形外科に向きませんか？

A: 確かに、お酒が好きな方が多いと思います。しかし、お酒が飲めない方も多く、まったく問題ありません。

Q: 整形外科は体育会のイメージがありますが？

A: スポーツ経験者や愛好者が多いようですが、そうでない方も多く、どんな方でも大歓迎です。

Q: 体力が無いが整形外科医は可能か？

A: 整形外科医は外傷や脊椎手術などの比較的重労働の分野と、手の外科やリハビリテーションなど比較的軽労働の分野があります。さまざまな選択肢があります。体力には関係ありません。

Q: 海外留学は可能か？

A: アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、国内など、留学はどんどん薦めています。臨床医として留学し、実際に手術を経験することが多いようです。尾崎教授も5年半の間、ヨーロッパ留学をしており、海外留学に関してはたいへんオープンです。基礎系でも留学は可能です。

Q: 女性医師に対する対応は？

A: 最近では毎年女性医師がメンバーに加わっています。勤務先は相談の上、配慮しております。特に、小さな子供さんがいる方は、子育てに便宜を図ってもらえる職場を斡旋しています。結婚、妊娠、出産に関するハンディ - はありません。話を聞きたい方には、女性スタッフを紹介いたします。